

セーフコミュニティ現地審査の結果について（速報）

審査員講評において内定通知書の読み上げがあり、口頭による認証の内定となりました。（※正式文書の交付は後日）

1 実施期間、場所 平成29年11月9～10日 中央公民館、日和田地域交流センター

2 実施内容

SC活動全体報告、外傷サーベイランス委員会の活動報告
6つの分野別対策委員会の活動報告、活動の現地視察

3 参加者数 延べ約200名

4 審査員講評の概要

① 全体を通して

パイ審査員（正）

- ・現地審査に関わった全ての皆さまに感謝いたします。
- ・皆さまが大きな事を成し遂げたことがわかりました。
- ・私たち審査員が登録している良い事例集（good example）に郡山市を登録し、世界中に発信したいと思えます。とても良い参考となるでしょう。
- ・ぜひ、この取組を続けていただきたい。

② 今後のアドバイス

グリブナ審査員（副）

- ・データ収集は、セーフコミュニティの基本です。
- ・外傷サーベイランスの取組は素晴らしく、第3回地域診断に期待します。
- ・救急医療機関のデータからは、より緊急度の高い状況が分かります。
- ・けがの発生状況と所得との相関性は、世界的にも確認されています。
- ・シートベルト、チャイルドシート、自転車のヘルメットの着用率向上にチャレンジしていただきたい。
- ・いじめは、学校、職場における隠れている問題で、意図的要因による受傷ですので、次のステップで対策にチャレンジしていただきたい。

パイ審査員（正）

- ・質の良いデータも必要ですが、質の良い分析も必要です。
- ・年齢別、性別、地域別等の深い分析を忘れないでください。

③ 現地審査の結果発表

パイ審査員（正）

- ・認証のための7つの指標を満たしていることを十分に確認できました。
（認証内定通知書の読み上げ）
- ・コングラチュレーション、郡山市の皆さま